

2 次関数の最大・最小クイズ (数字)

1 次の 2 次関数に最大値，最小値があれば，それを求めよ。

$y = -x^2 - 4x - 1$

解答 $x = -2$ で最大値 3，最小値はない

解説

この関数の式を変形すると

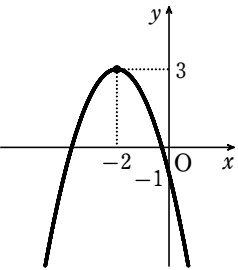
$y = -(x + 2)^2 + 3$

よって，この関数は

$x = -2$ で最大値 3

をとる。

また，最小値はない。



2 次の 2 次関数に最大値，最小値があれば，それを求めよ。

(1) $y = x^2 + 4x + 2$

(2) $y = -x^2 + 6x - 4$

(3) $y = 2x^2 + 4x + 3$

(4) $y = -2x^2 - 6x$

解答 (1) $x = -2$ で最小値 -2 ，最大値はない

(2) $x = 3$ で最大値 5，最小値はない

(3) $x = -1$ で最小値 1，最大値はない

(4) $x = -\frac{3}{2}$ で最大値 $\frac{9}{2}$ ，最小値はない

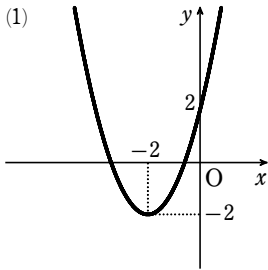
解説

(1) この関数の式を変形すると

$y = (x + 2)^2 - 2$

よって，この関数は $x = -2$ で最小値 -2 をとる。

また，最大値はない。

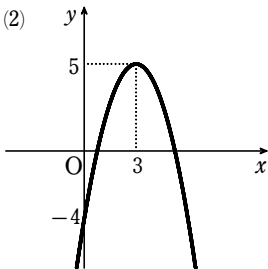


(2) この関数の式を変形すると

$y = -(x - 3)^2 + 5$

よって，この関数は $x = 3$ で最大値 5 をとる。

また，最小値はない。

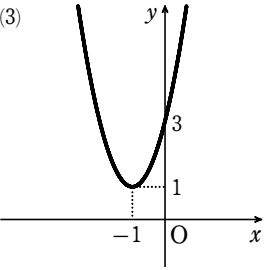


(3) この関数の式を変形すると

$y = 2(x + 1)^2 + 1$

よって，この関数は $x = -1$ で最小値 1 をとる。

また，最大値はない。

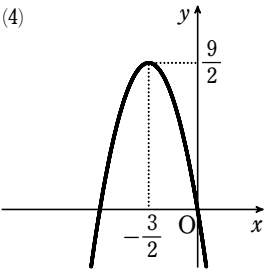


(4) この関数の式を変形すると

$y = -2\left(x + \frac{3}{2}\right)^2 + \frac{9}{2}$

よって，この関数は $x = -\frac{3}{2}$ で最大値 $\frac{9}{2}$ をとる。

また，最小値はない。



3 次の関数の最大値と最小値を求めよ。

$y = x^2 - 2x + 2 \quad (0 \leq x \leq 3)$

解答 $x = 3$ で最大値 5， $x = 1$ で最小値 1

解説

この関数の式は

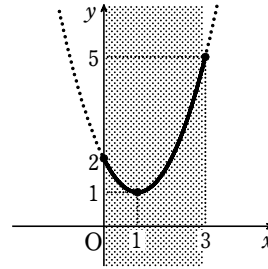
$y = (x - 1)^2 + 1 \quad (0 \leq x \leq 3)$

と変形され，そのグラフは右の図の実線部分である。

よって，この関数は

$x = 3$ で最大値 5 をとり，

$x = 1$ で最小値 1 をとる。



4 次の関数の最大値と最小値を求めよ。

(1) $y = -x^2 + 1 \quad (1 \leq x \leq 3)$

(2) $y = 2x^2 - 4x + 1 \quad (-1 \leq x \leq 2)$

解答 (1) $x = 1$ で最大値 0， $x = 3$ で最小値 -8

(2) $x = -1$ で最大値 7， $x = 1$ で最小値 -1

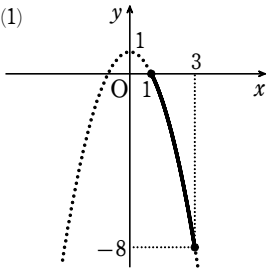
解説

(1) 関数 $y = -x^2 + 1 \quad (1 \leq x \leq 3)$ のグラフは右の図の実線部分である。

よって，この関数は

$x = 1$ で最大値 0 をとり，

$x = 3$ で最小値 -8 をとる。



(2) この関数の式は

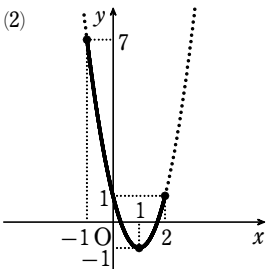
$y = 2(x - 1)^2 - 1 \quad (-1 \leq x \leq 2)$

と変形され，そのグラフは右の図の実線部分である。

よって，この関数は

$x = -1$ で最大値 7 をとり，

$x = 1$ で最小値 -1 をとる。



5 次の関数に最大値，最小値があれば，それを求めよ。

$y = -x^2 + 4x + 3 \quad (1 < x < 5)$

解答 $x = 2$ で最大値 7，最小値はない

解説

この関数の式は

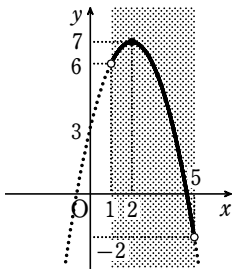
$y = -(x - 2)^2 + 7 \quad (1 < x < 5)$

と変形され，そのグラフは右の図の実線部分である。

よって，この関数は

$x = 2$ で最大値 7 をとる。

また，最小値はない。



6 次の関数に最大値，最小値があれば，それを求めよ。

(1) $y = x^2 + 2x \quad (-2 < x < 1)$

(2) $y = -2x^2 + 3x + 1 \quad (0 < x \leq 2)$

解答 (1) $x = -1$ で最小値 -1 ，最大値はない

(2) $x = \frac{3}{4}$ で最大値 $\frac{17}{8}$ ， $x = 2$ で最小値 -1

解説

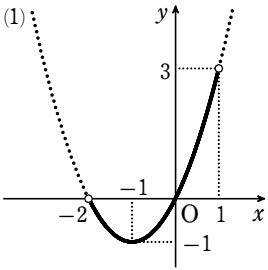
(1) この関数の式は

$y = (x + 1)^2 - 1 \quad (-2 < x < 1)$

と変形され，そのグラフは右の図の実線部分である。

よって，この関数は $x = -1$ で最小値 -1 をとる。

また，最大値はない。



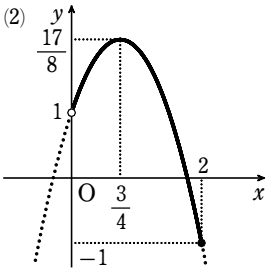
(2) この関数の式は

$y = -2\left(x - \frac{3}{4}\right)^2 + \frac{17}{8} \quad (0 < x \leq 2)$

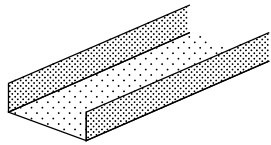
と変形され，そのグラフは右の図の実線部分である。よって，この関数は

$x = \frac{3}{4}$ で最大値 $\frac{17}{8}$ ， $x = 2$ で最小値 -1

をとる。



- 7 幅 20 cm の金属板を、右の図のように、両端から等しい長さだけ直角に折り曲げて、断面が長方形の水路を作る。
- このとき、断面積が最大になるようにするためには、端から何 cm のところで折り曲げればよいか。また、その断面積の最大値を求めよ。



【解答】 端から 5 cm のところで折り曲げればよい、 50 cm^2

【解説】

折り曲げる部分の長さを $x\text{ cm}$ 、

断面積を $y\text{ cm}^2$ とする。

底の幅は $(20-2x)\text{ cm}$ で、

$$x > 0, 20 - 2x > 0$$

であるから

$$0 < x < 10 \quad \cdots \cdots \textcircled{1}$$

また、 y は

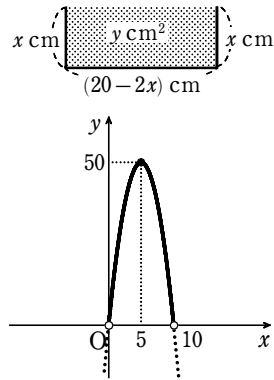
$$\begin{aligned} y &= x(20-2x) \\ &= -2x^2 + 20x \\ &= -2(x-5)^2 + 50 \end{aligned}$$

よって、 $\textcircled{1}$ の範囲の x について、

y は、 $x=5$ で最大値 50 をとる。

ゆえに、端から 5 cm のところで折り曲げればよい。

また、断面積の最大値は 50 cm^2 である。



- 8 長さ 40 cm の針金を 2 つに切り、2 本の針金をそれぞれ折り曲げて、正方形を 2 つ作る。それらの正方形の面積の和を最小にするには、針金をどのように切ればよいか。また、その面積の和の最小値を求めよ。

【解答】 半分に切ればよい、 50 cm^2

【解説】

一方の針金の長さを $x\text{ cm}$ とすると、他方の針金の長さは $(40-x)\text{ cm}$ となる。

ここで、 $x > 0$ かつ $40-x > 0$ より $0 < x < 40 \quad \cdots \cdots \textcircled{1}$

正方形の面積の和を S とすると、正方形の 1 辺の長さがそれぞれ $\frac{x}{4}$ 、 $\frac{40-x}{4}$ で

あるから

$$\begin{aligned} S &= \left(\frac{x}{4}\right)^2 + \left(\frac{40-x}{4}\right)^2 \\ &= \frac{1}{8}(x-20)^2 + 50 \end{aligned}$$

よって、 $\textcircled{1}$ の範囲の x について、 S は $x=20$ で最小値 50 をとる。

このとき、他方の針金の長さも 20 cm になる。

したがって、針金を半分に切ればよい。

また、面積の和の最小値は 50 cm^2 である。

【別解】 2 つの正方形の 1 辺の長さを、それぞれ $x\text{ cm}$ 、

$y\text{ cm}$ とし、2 つの面積の和を S とすると

$$S = x^2 + y^2 \quad \cdots \cdots \textcircled{1}, \quad 4x + 4y = 40 \quad \cdots \cdots \textcircled{2}$$

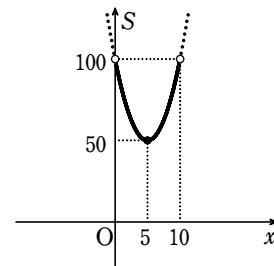
$\textcircled{2}$ より $y = 10 - x$

$\textcircled{1}$ に代入して

$$\begin{aligned} S &= x^2 + (10-x)^2 \\ &= 2(x-5)^2 + 50 \end{aligned}$$

$x > 0$ かつ $y > 0$ より $0 < x < 10$

この範囲の x について、 S は $x=y=5$ で最小値 50 をとる。



したがって、針金を半分に切ればよい。

また、面積の和の最小値は 50 cm^2 である。

- 9 1 辺の長さが 10 cm の正方形 ABCD がある。点 P は A を出発して、辺 AB 上を毎秒 1 cm の速さで B に向かって進み、点 Q は、点 P と同時に B を出発して、辺 BC 上を毎秒 2 cm の速さで C に向かって進む。Q が C に達するまでに P、Q 間の距離が最小になるのは、出発してから何秒後か。また、その最小の距離を求めよ。

【解答】 2 秒後、 $4\sqrt{5}\text{ cm}$

【解説】

出発してから x 秒後の P、Q 間の距離を $y\text{ cm}$ とする。

Q は 5 秒後に C に達するから

$$0 \leq x \leq 5 \quad \cdots \cdots \textcircled{1}$$

このとき、 $AP=x$ 、 $BQ=2x$ であるから

$$\begin{aligned} y^2 &= (10-x)^2 + (2x)^2 \\ &= 5x^2 - 20x + 100 \\ &= 5(x-2)^2 + 80 \end{aligned}$$

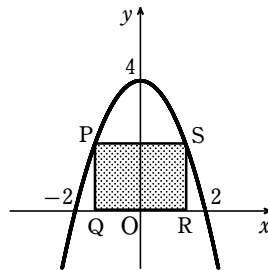
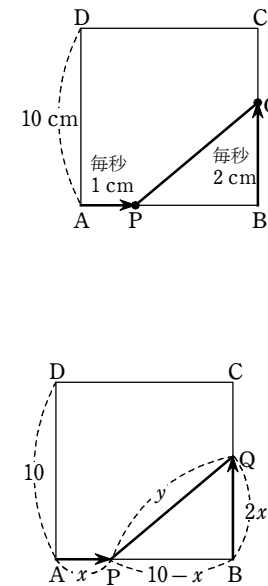
よって、 $\textcircled{1}$ の範囲の x について、 y^2 は $x=2$ で最小値 80 をとる。

$y > 0$ であるから、 y^2 が最小となるとき y も最小となる。

ゆえに、 y は $x=2$ で最小値 $\sqrt{80}=4\sqrt{5}$ をとる。

したがって、2 秒後に P、Q 間の距離は最小になり、最小の距離は $4\sqrt{5}\text{ cm}$ である。

- 10 放物線 $y=4-x^2$ と x 軸で囲まれた部分に、長方形 PQRS を右の図のように Q、R が x 軸上にあるように内接させる。この長方形の周の長さが最大となるときの PS の長さを求めよ。



【解答】 2

【解説】

点 R の座標を $(x, 0)$ とすると、点 Q、S、P の座標は、それぞれ

$$Q(-x, 0), S(x, 4-x^2), P(-x, 4-x^2)$$

となる。このときグラフより

$$0 < x < 2$$

長方形 PQRS の周の長さを l とすると

$$\begin{aligned} l &= (QR + RS) \times 2 = (2x + 4 - x^2) \times 2 \\ &= -2x^2 + 4x + 8 = -2(x-1)^2 + 10 \end{aligned}$$

よって、 $x=1$ のとき、 l は最大値 10 をとる。

このとき $PS=2x=2 \cdot 1=2$

ゆえに、 $PS=2$ のとき、長方形 PQRS の周の長さは最大になる。

- 11 次の 2 次関数に最大値、最小値があれば、それを求めよ。[各 10 点]

$$(1) y = x^2 - 4x + 5$$

$$(2) y = -\frac{1}{2}x^2 + 2x$$

【解答】 (1) 与えられた関数の式を変形すると $y=(x-2)^2+1$

よって、 $x=2$ で最小値 1 をとる。最大値はない。

(2) 与えられた関数の式を変形すると $y=-\frac{1}{2}(x-2)^2+2$

よって、 $x=2$ で最大値 2 をとる。最小値はない。

【解説】

(1) 与えられた関数の式を変形すると $y=(x-2)^2+1$

よって、 $x=2$ で最小値 1 をとる。最大値はない。

(2) 与えられた関数の式を変形すると $y=-\frac{1}{2}(x-2)^2+2$

よって、 $x=2$ で最大値 2 をとる。最小値はない。

- 12 次の関数に最大値、最小値があれば、それを求めよ。[各 15 点]

$$(1) y = x^2 + 2x - 3 \quad (-2 \leq x \leq 2)$$

$$(2) y = -2x^2 - 4x + 2 \quad (-2 < x < 1)$$

【解答】 (1) 与えられた関数の式を変形すると

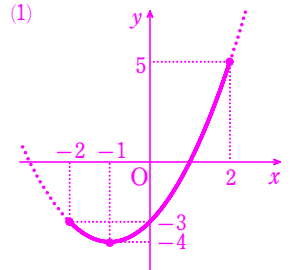
$$y = (x+1)^2 - 4 \quad (-2 \leq x \leq 2)$$

よって、そのグラフは右の図の実線の部分である。したがって

$x=2$ で最大値 5

$x=-1$ で最小値 -4

をとる。



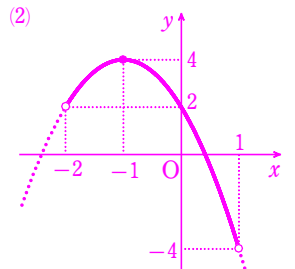
(2) 与えられた関数の式を変形すると

$$y = -2(x+1)^2 + 4 \quad (-2 < x < 1)$$

よって、そのグラフは右の図の実線の部分である。したがって

$x=-1$ で最大値 4 をとる。

最小値はない。



【解説】

(1) 与えられた関数の式を変形すると

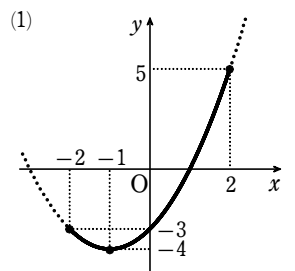
$$y = (x+1)^2 - 4 \quad (-2 \leq x \leq 2)$$

よって、そのグラフは右の図の実線の部分である。したがって

$x=2$ で最大値 5

$x=-1$ で最小値 -4

をとる。



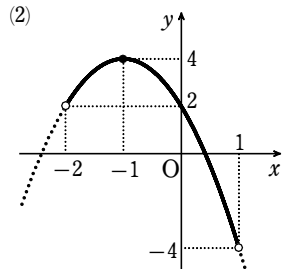
(2) 与えられた関数の式を変形すると

$$y = -2(x+1)^2 + 4 \quad (-2 < x < 1)$$

よって、そのグラフは右の図の実線の部分である。したがって

$x=-1$ で最大値 4 をとる。

最小値はない。



- 13 周囲の長さが 40 cm である長方形の面積を $S\text{ cm}^2$ とするとき、 S の最大値を求めよ。また、このとき、長方形はどのような形か。[20 点]

【解答】 長方形の縦の長さを $x\text{ cm}$ とすると、横の長さは $\frac{40-2x}{2}=20-x\text{ (cm)}$ である。

また、 $x > 0$ 、 $20 - x > 0$ であるから $0 < x < 20$

この長方形の面積 S (cm²) は

$$S = x(20 - x) = -(x - 10)^2 + 100$$

$x = 10$ は定義域 $0 < x < 20$ に含まれるから、 S は $x = 10$ で最大値 100 をとる。

よって、長方形の面積 S の最大値は 100 cm² である。

このとき、縦の長さも横の長さも 10 cm になるから、長方形の形は正方形である。

解説

長方形の縦の長さを x cm とすると、横の長さは $\frac{40 - 2x}{2} = 20 - x$ (cm) である。

また、 $x > 0$ 、 $20 - x > 0$ であるから $0 < x < 20$

この長方形の面積 S (cm²) は

$$S = x(20 - x) = -(x - 10)^2 + 100$$

$x = 10$ は定義域 $0 < x < 20$ に含まれるから、 S は $x = 10$ で最大値 100 をとる。

よって、長方形の面積 S の最大値は 100 cm² である。

このとき、縦の長さも横の長さも 10 cm になるから、長方形の形は正方形である。

14 周の長さが 40 である長方形の対角線の長さ l の最小値を求めよ。[25 点]

解答 長方形の 2 辺の長さを x 、 y とする。

$$2x + 2y = 40 \text{ であるから } y = 20 - x$$

辺の長さは正の数であるから $x > 0$ かつ $20 - x > 0$

すなわち $0 < x < 20$ …… ①

$$\begin{aligned} \text{三平方の定理により } l^2 &= x^2 + y^2 = x^2 + (20 - x)^2 = 2x^2 - 40x + 400 \\ &= 2(x - 10)^2 + 200 \end{aligned}$$

① の範囲の x について、 l^2 は $x = 10$ で最小値 200 をとる。

$l > 0$ であるから、 l^2 が最小のとき l も最小となる。

よって、 l の最小値は $\sqrt{200} = 10\sqrt{2}$

解説

長方形の 2 辺の長さを x 、 y とする。

$$2x + 2y = 40 \text{ であるから } y = 20 - x$$

辺の長さは正の数であるから $x > 0$ かつ $20 - x > 0$

すなわち $0 < x < 20$ …… ①

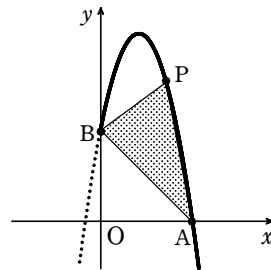
$$\begin{aligned} \text{三平方の定理により } l^2 &= x^2 + y^2 = x^2 + (20 - x)^2 = 2x^2 - 40x + 400 \\ &= 2(x - 10)^2 + 200 \end{aligned}$$

① の範囲の x について、 l^2 は $x = 10$ で最小値 200 をとる。

$l > 0$ であるから、 l^2 が最小のとき l も最小となる。

よって、 l の最小値は $\sqrt{200} = 10\sqrt{2}$

15 関数 $y = -x^2 + 5x + 6$ ($x \geq 0$) のグラフと、 x 軸、 y 軸の交点をそれぞれ A、B とする。このグラフ上の点 P が $x > 0$ かつ $y > 0$ の範囲を動くとき、△PAB の面積の最大値を求めよ。[25 点]



解答 $-x^2 + 5x + 6 = 0$ を解くと $x = -1, 6$

よって、A の座標は (6, 0)

P の座標を

$$(x, -x^2 + 5x + 6) \quad (0 < x < 6)$$

とする。

$$\triangle PAB = \triangle OAP + \triangle OBP - \triangle OAB$$

であるから、△PAB の面積を S とすると

$$\begin{aligned} S &= \frac{1}{2} \cdot 6 \cdot (-x^2 + 5x + 6) + \frac{1}{2} \cdot 6 \cdot x - \frac{1}{2} \cdot 6 \cdot 6 \\ &= -3x^2 + 18x = -3(x - 3)^2 + 27 \end{aligned}$$

よって、 $0 < x < 6$ の範囲で S は $x = 3$ で最大値 27 をとる。

解説

$-x^2 + 5x + 6 = 0$ を解くと $x = -1, 6$

よって、A の座標は (6, 0)

P の座標を

$$(x, -x^2 + 5x + 6) \quad (0 < x < 6)$$

とする。

$$\triangle PAB = \triangle OAP + \triangle OBP - \triangle OAB$$

であるから、△PAB の面積を S とすると

$$\begin{aligned} S &= \frac{1}{2} \cdot 6 \cdot (-x^2 + 5x + 6) + \frac{1}{2} \cdot 6 \cdot x - \frac{1}{2} \cdot 6 \cdot 6 \\ &= -3x^2 + 18x = -3(x - 3)^2 + 27 \end{aligned}$$

よって、 $0 < x < 6$ の範囲で S は $x = 3$ で最大値 27 をとる。

16 次の 2 次関数に最大値、最小値があれば、それを求めよ。

(1) $y = 2x^2 + 3$

(2) $y = -(x - 3)^2$

(3) $y = 3(x - 1)^2 + 2$

(4) $y = x^2 + 4x + 5$

(5) $y = -x^2 - 6x + 1$

解答 (1) $x = 0$ で最小値 3、最大値はない

(2) $x = 3$ で最大値 0、最小値はない

(3) $x = 1$ で最小値 2、最大値はない

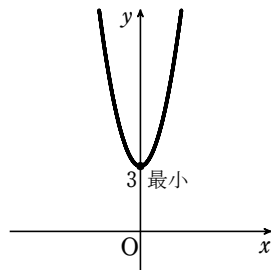
(4) $x = -2$ で最小値 1、最大値はない

(5) $x = -3$ で最大値 10、最小値はない

解説

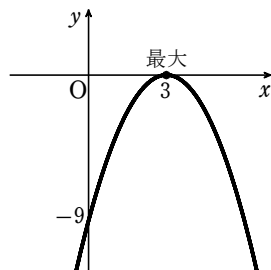
(1) $y = 2x^2 + 3$ のグラフから

$x = 0$ で最小値 3、最大値はない。



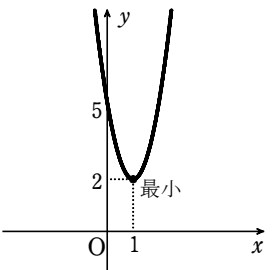
(2) $y = -(x - 3)^2$ のグラフから

$x = 3$ で最大値 0、最小値はない。



(3) $y = 3(x - 1)^2 + 2$ のグラフから

$x = 1$ で最小値 2、最大値はない。



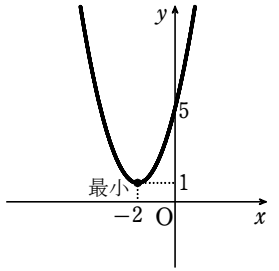
(4) $y = x^2 + 4x + 5$

$$= (x^2 + 4x + 2^2 - 2^2) + 5$$

$$= \{(x + 2)^2 - 2^2\} + 5$$

$$= (x + 2)^2 + 1$$

よって $x = -2$ で最小値 1、最大値はない。



(5) $y = -x^2 - 6x + 1$

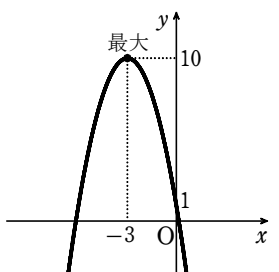
$$= -(x^2 + 6x) + 1$$

$$= -(x^2 + 6x + 3^2 - 3^2) + 1$$

$$= -\{(x + 3)^2 - 3^2\} + 1$$

$$= -(x + 3)^2 + 10$$

よって $x = -3$ で最大値 10、最小値はない。



17 次の関数に最大値、最小値があれば、それを求めよ。

(1) $y = \frac{1}{2}x^2 + x - 1$

(2) $y = -x^2 + 2\sqrt{2}x - 2$

解答 (1) $x = -1$ で最小値 $-\frac{3}{2}$ 、最大値はない

(2) $x = \sqrt{2}$ で最大値 0、最小値はない

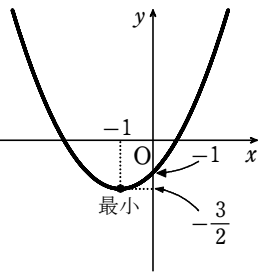
解説

(1) $y = \frac{1}{2}x^2 + x - 1 = \frac{1}{2}(x^2 + 2x) - 1$

$$= \frac{1}{2}(x^2 + 2x + 1^2 - 1^2) - 1$$

$$= \frac{1}{2}(x + 1)^2 - \frac{3}{2}$$

よって $x = -1$ で最小値 $-\frac{3}{2}$ 、最大値はない。

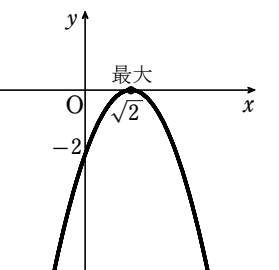


(2) $y = -x^2 + 2\sqrt{2}x - 2$

$$= -\{x^2 - 2\sqrt{2}x + (\sqrt{2})^2\}$$

$$= -(x - \sqrt{2})^2$$

よって $x = \sqrt{2}$ で最大値 0、最小値はない。



18 次の関数に最大値、最小値があれば、それを求めよ。

(1) $y = \frac{1}{3}x^2 - 2x + 1$

(2) $y = -\sqrt{2}x^2 + 4x - 2$

- 【解答】** (1) $x=3$ で最小値 -2 、最大値はない
 (2) $x=\sqrt{2}$ で最大値 $2\sqrt{2}-2$ 、最小値はない

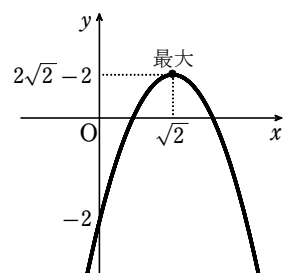
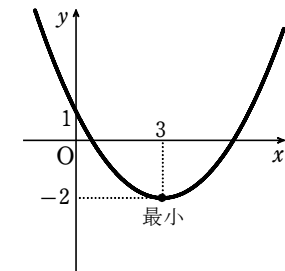
【解説】

$$\begin{aligned}(1) \quad y &= \frac{1}{3}x^2 - 2x + 1 \\ &= \frac{1}{3}(x^2 - 6x) + 1 \\ &= \frac{1}{3}(x^2 - 6x + 3^2 - 3^2) + 1 \\ &= \frac{1}{3}(x-3)^2 - 2\end{aligned}$$

よって $x=3$ で最小値 -2 、最大値はない。

$$\begin{aligned}(2) \quad y &= -\sqrt{2}x^2 + 4x - 2 \\ &= -\sqrt{2}\left(x^2 - \frac{4}{\sqrt{2}}x\right) - 2 \\ &= -\sqrt{2}(x^2 - 2\sqrt{2}x) - 2 \\ &= -\sqrt{2}\{x^2 - 2\sqrt{2}x + (\sqrt{2})^2 - (\sqrt{2})^2\} - 2 \\ &= -\sqrt{2}(x - \sqrt{2})^2 + 2\sqrt{2} - 2\end{aligned}$$

よって $x=\sqrt{2}$ で最大値 $2\sqrt{2}-2$ 、最小値はない。



- 【19】** 関数 $y=x^2+2x-1$ の定義域として次の範囲をとるとき、各場合について、最大値、最小値があれば、それを求めよ。

- (1) $-3 \leq x \leq 0$ (2) $-2 < x < 1$ (3) $0 \leq x \leq 2$

- 【解答】** (1) $x=-3$ のとき最大値 2 、 $x=-1$ のとき最小値 -2
 (2) 最大値はない、 $x=-1$ のとき最小値 -2
 (3) $x=2$ のとき最大値 7 、 $x=0$ のとき最小値 -1

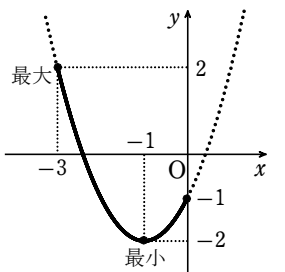
【解説】

$$\begin{aligned}y &= x^2 + 2x - 1 = (x^2 + 2x + 1^2 - 1^2) - 1 \\ &= (x+1)^2 - 2\end{aligned}$$

この関数のグラフは下に凸の放物線で、軸は直線 $x=-1$ 、頂点は点 $(-1, -2)$

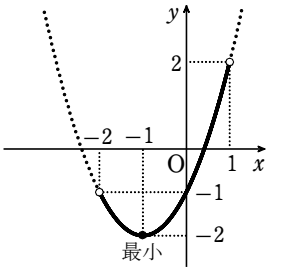
- (1) $-3 \leq x \leq 0$ のとき、グラフは図の実線部分のようになるから

$x=-3$ のとき最大値 2 、
 $x=-1$ のとき最小値 -2



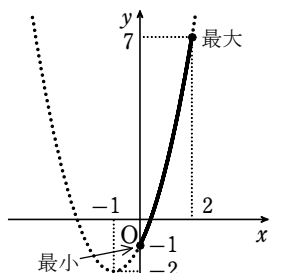
- (2) $-2 < x < 1$ のとき、グラフは図の実線部分のようになるから

最大値はない、
 $x=-1$ のとき最小値 -2



- (3) $0 \leq x \leq 2$ のとき、グラフは図の実線部分のようになるから

$x=2$ のとき最大値 7 、
 $x=0$ のとき最小値 -1



- 【20】** 次の関数に最大値、最小値があれば、それを求めよ。

- (1) $y=-2x^2-4x+1$ ($-2 \leq x \leq 1$) (2) $y=4x^2-12x+5$ ($-\frac{1}{2} \leq x \leq \frac{7}{2}$)
 (3) $y=2x^2-10x+9$ ($0 < x < 3$) (4) $y=-3x^2+12x-7$ ($x > 1$)

- 【解答】** (1) $x=-1$ で最大値 3 、 $x=1$ で最小値 -5
 (2) $x=-\frac{1}{2}$ 、 $\frac{7}{2}$ で最大値 12 ； $x=\frac{3}{2}$ で最小値 -4
 (3) $x=\frac{5}{2}$ で最小値 $-\frac{7}{2}$ 、最大値はない
 (4) $x=2$ で最大値 5 、最小値はない

【解説】

$$\begin{aligned}(1) \quad y &= -2x^2 - 4x + 1 = -2(x^2 + 2x) + 1 \\ &= -2(x^2 + 2x + 1^2 - 1^2) + 1 \\ &= -2(x+1)^2 + 3 \\ x &= -2 \text{ のとき} \quad y = 1 \\ x &= 1 \text{ のとき} \quad y = -5 \\ \text{グラフは、図の実線部分である。} \\ \text{よって} \quad x &= -1 \text{ で最大値 } 3 \\ x &= 1 \text{ で最小値 } -5\end{aligned}$$

$$\begin{aligned}(2) \quad y &= 4x^2 - 12x + 5 = 4(x^2 - 3x) + 5 \\ &= 4\left\{x^2 - 3x + \left(\frac{3}{2}\right)^2 - \left(\frac{3}{2}\right)^2\right\} + 5 \\ &= 4\left(x - \frac{3}{2}\right)^2 - 4 \\ x &= -\frac{1}{2} \text{ のとき} \quad y = 12 \\ x &= \frac{7}{2} \text{ のとき} \quad y = 12\end{aligned}$$

グラフは、図の実線部分である。

よって $x=-\frac{1}{2}$ 、 $\frac{7}{2}$ で最大値 12

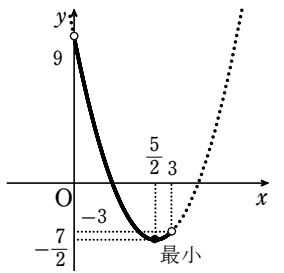
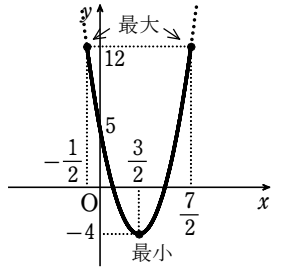
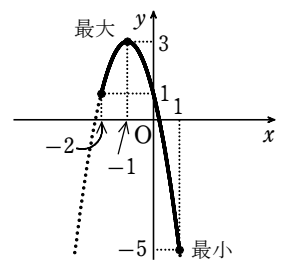
$x=\frac{3}{2}$ で最小値 -4

$$\begin{aligned}(3) \quad y &= 2x^2 - 10x + 9 = 2(x^2 - 5x) + 9 \\ &= 2\left\{x^2 - 5x + \left(\frac{5}{2}\right)^2 - \left(\frac{5}{2}\right)^2\right\} + 9 \\ &= 2\left(x - \frac{5}{2}\right)^2 - \frac{7}{2} \\ x &= 0 \text{ のとき} \quad y = 9 \\ x &= 3 \text{ のとき} \quad y = -3\end{aligned}$$

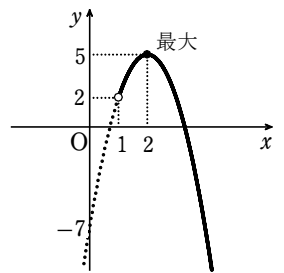
グラフは、図の実線部分である。

よって $x=\frac{5}{2}$ で最小値 $-\frac{7}{2}$

最大値はない。



- (4) $y=-3x^2+12x-7=-3(x^2-4x)-7$
 $=-3(x^2-4x+2^2-2^2)-7$
 $=-3(x-2)^2+5$
 $x=1$ のとき $y=2$
 グラフは、図の実線部分である。
 よって $x=2$ で最大値 5
 最小値はない。



- 【21】** 変数 x 、 y が条件 $x+2y=1$ を満たすとき、次のものを求めよ。

- (1) x^2+y^2 の最小値 (2) $x \geq 0$ 、 $y \geq 0$ のとき、 x^2+y^2 の最大値

- 【解答】** (1) $x=\frac{1}{5}$ 、 $y=\frac{2}{5}$ のとき最小値 $\frac{1}{5}$ (2) $x=1$ 、 $y=0$ のとき最大値 1

【解説】

$$\begin{aligned}(1) \quad x+2y &= 1 \text{ から} \quad x = 1-2y \quad \cdots \cdots \text{①} \\ \text{ゆえに} \quad x^2+y^2 &= (1-2y)^2 + y^2 = 5y^2 - 4y + 1 \\ &= 5\left(y - \frac{2}{5}\right)^2 + \frac{1}{5} \quad \cdots \cdots \text{②}\end{aligned}$$

よって、 $y=\frac{2}{5}$ で最小値 $\frac{1}{5}$ をとる。このとき、①から $x=\frac{1}{5}$

したがって $x=\frac{1}{5}$ 、 $y=\frac{2}{5}$ のとき最小値 $\frac{1}{5}$

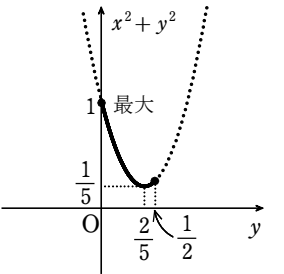
- (2) $x \geq 0$ であるから、①より $1-2y \geq 0$

$y \geq 0$ との共通範囲は $0 \leq y \leq \frac{1}{2}$ ③

②から、③の範囲において、 x^2+y^2 は $y=0$ で最大値 1 をとる。

このとき、①から $x=1$

したがって $x=1$ 、 $y=0$ のとき最大値 1



- 【22】** $x+y=1$ 、 $0 \leq x \leq 2$ のとき、 $x-2y^2$ の最大値と最小値を求めよ。

- 【解答】** $x=\frac{5}{4}$ 、 $y=-\frac{1}{4}$ のとき最大値 $\frac{9}{8}$ ； $x=0$ 、 $y=1$ のとき最小値 -2

【解説】

$$x+y=1 \text{ から} \quad y=1-x \quad \cdots \cdots \text{①}$$

よって $x-2y^2=x-2(1-x)^2=-2x^2+5x-2=-2\left(x-\frac{5}{4}\right)^2+\frac{9}{8}$

ゆえに、 $0 \leq x \leq 2$ の範囲において、 $x-2y^2$ は

$x=\frac{5}{4}$ で最大値 $\frac{9}{8}$ 、

$x=0$ で最小値 -2

をとる。ここで、①から

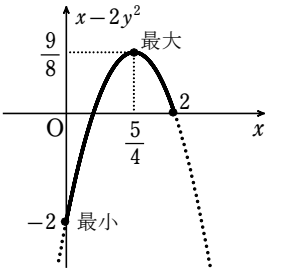
$x=\frac{5}{4}$ のとき $y=-\frac{1}{4}$ 、

$x=0$ のとき $y=1$

したがって $x=\frac{5}{4}$ 、 $y=-\frac{1}{4}$ のとき最大値 $\frac{9}{8}$ ；

$x=0$ 、 $y=1$ のとき最小値 -2

- 【23】** 分速 800 m で北に進む船 A と、分速 600 m で西に進む船 B があり、両船の航路の交点を O とする。現在、A は O の南 2 km、B は O の東 4 km にいる。この 2 隻の船が最も近づくとき、両船間の距離は何 km か。



【解答】 4分後に2 km

【解説】

船 A、B の現在の位置を A_0 、 B_0 とし、 x 分後の位置を P、Q とする。ただし、 $x \geq 0$ とする。

$$A_0P = 0.8x \text{ (km)}, \quad B_0Q = 0.6x \text{ (km)}$$

よって、両船間の距離を y km とすると

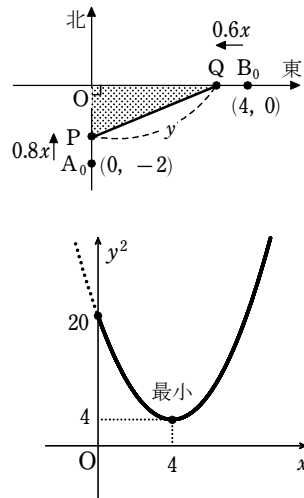
$$\begin{aligned} y^2 &= PQ^2 = OP^2 + OQ^2 \\ &= |2 - 0.8x|^2 + |4 - 0.6x|^2 \\ &= (2 - 0.8x)^2 + (4 - 0.6x)^2 \\ &= x^2 - 8x + 20 \\ &= (x - 4)^2 + 4 \end{aligned}$$

$x \geq 0$ の範囲で、 y^2 は $x = 4$ のとき最小値 4 をとる。

$y > 0$ であるから、このとき y も最小である。

したがって、 y の最小値は $\sqrt{4} = 2$

よって 4 分後に 2 km



【24】 (1) 関数 $y = x^4 - 6x^2 + 10$ の最小値を求めよ。

(2) $-2 \leq x \leq 1$ のとき、関数 $y = (x^2 + 2x)^2 - 4(x^2 + 2x) - 4$ の最大値、最小値を求めよ。

【解答】 (1) $x = \pm\sqrt{3}$ のとき最小値 1

(2) $x = -1$ のとき最大値 1, $x = -1 + \sqrt{3}$ のとき最小値 -8

【解説】

(1) $x^2 = t$ とおくと $t \geq 0$

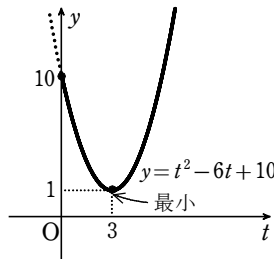
y を t の式で表すと

$$\begin{aligned} y &= t^2 - 6t + 10 \\ &= (t - 3)^2 + 1 \end{aligned}$$

$t \geq 0$ の範囲において、 y は $t = 3$ のとき最小となる。

このとき $x = \pm\sqrt{3}$

よって $x = \pm\sqrt{3}$ のとき最小値 1



(2) $x^2 + 2x = t$ とおくと

$$t = (x + 1)^2 - 1$$

$-2 \leq x \leq 1$ から $-1 \leq t \leq 3$ …… ①

y を t の式で表すと

$$\begin{aligned} y &= t^2 - 4t - 4 \\ &= (t - 2)^2 - 8 \end{aligned}$$

① の範囲において、 y は

$t = -1$ で最大値 1,

$t = 2$ で最小値 -8 をとる。

$t = -1$ のとき $(x + 1)^2 - 1 = -1$

ゆえに $(x + 1)^2 = 0$

よって $x = -1$

$t = 2$ のとき $(x + 1)^2 - 1 = 2$

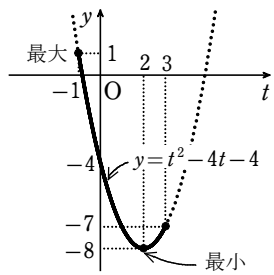
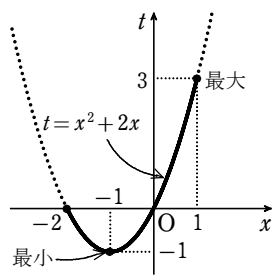
これを解いて $x = -1 \pm \sqrt{3}$

$-2 \leq x \leq 1$ を満たす解は

$$x = -1 + \sqrt{3}$$

以上から $x = -1$ のとき最大値 1,

$x = -1 + \sqrt{3}$ のとき最小値 -8



【25】 次の関数に最大値、最小値があれば、それを求めよ。

(1) $y = -x^4 + 6x^2$

(2) $y = (x^2 + 2x)(x^2 + 2x + 3)$

(3) $y = (x^2 - 6x)^2 + 12(x^2 - 6x) + 30$ ($1 \leq x \leq 5$)

【解答】 (1) $x = \pm\sqrt{3}$ のとき最大値 9, 最小値はない

(2) $x = -1$ のとき最小値 -2 , 最大値はない

(3) $x = 3$ のとき最大値 3, $x = 3 \pm \sqrt{3}$ のとき最小値 -6

【解説】

(1) $x^2 = t$ とおくと、 t の変域は $t \geq 0$

y を t の式で表すと

$$y = -t^2 + 6t = -(t - 3)^2 + 9$$

$t \geq 0$ の範囲において、 y は $t = 3$ で最大値 9 をとる。

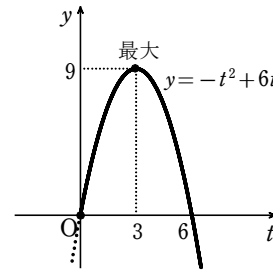
また、最小値はない。

$t = 3$ のとき $x^2 = 3$

よって $x = \pm\sqrt{3}$

以上から $x = \pm\sqrt{3}$ のとき最大値 9,

最小値はない。



(2) $x^2 + 2x = t$ とおくと $t = x^2 + 2x = (x + 1)^2 - 1$

よって、 t の変域は $t \geq -1$ …… ①

y を t の式で表すと

$$y = t(t + 3) = t^2 + 3t = \left(t + \frac{3}{2}\right)^2 - \frac{9}{4}$$

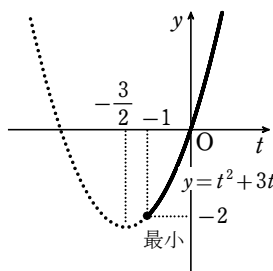
① の範囲において、 y は $t = -1$ で最小値 -2 をとる。

また、最大値はない。

$t = -1$ のとき $x^2 + 2x = -1$

これを解くと $x = -1$

以上から $x = -1$ のとき最小値 -2 , 最大値はない。



(3) $x^2 - 6x = t$ とおくと $t = x^2 - 6x = (x - 3)^2 - 9$

$1 \leq x \leq 5$ であるから、 t の変域は

$$-9 \leq t \leq -5 \quad \text{…… ①}$$

y を t の式で表すと

$$y = t^2 + 12t + 30 = (t + 6)^2 - 6$$

① の範囲において、 y は

$t = -9$ で最大値 3

$t = -6$ で最小値 -6

をとる。

$t = -9$ のとき $x^2 - 6x = -9$

よって $(x - 3)^2 = 0$

これを解いて $x = 3$

これは $1 \leq x \leq 5$ を満たす。

$t = -6$ のとき $x^2 - 6x = -6$

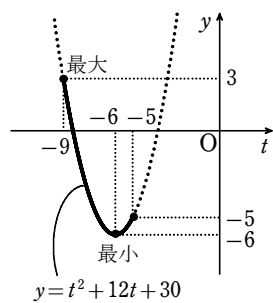
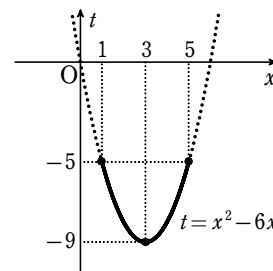
よって $x^2 - 6x + 6 = 0$

これを解いて $x = 3 \pm \sqrt{3}$

これは $1 \leq x \leq 5$ を満たす。

以上から $x = 3$ のとき最大値 3,

$x = 3 \pm \sqrt{3}$ のとき最小値 -6



【26】 実数 x 、 y が $x^2 + y^2 = 4$ を満たすとき、 $2x + y^2$ の最大値と最小値、およびそのときの x 、 y の値を求めよ。

【解答】 $x = 1$, $y = \pm\sqrt{3}$ のとき最大値 5 ; $x = -2$, $y = 0$ のとき最小値 -4

【解説】

$$x^2 + y^2 = 4 \text{ から } y^2 = 4 - x^2 \quad \text{…… ①}$$

$$y^2 \geq 0 \text{ であるから } 4 - x^2 \geq 0$$

$$\text{よって } -2 \leq x \leq 2 \quad \text{…… ②}$$

$z = 2x + y^2$ として、右辺に ① を代入すると

$$z = 2x + (4 - x^2) = -(x - 1)^2 + 5$$

② の範囲において、 z は

$x = 1$ で最大値 5,

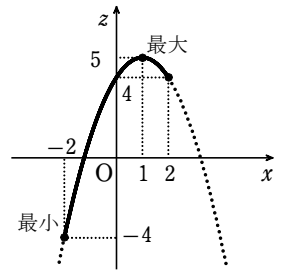
$x = -2$ で最小値 -4 をとる。

① から、 $x = 1$ のとき $y^2 = 3$ ゆえに $y = \pm\sqrt{3}$

$x = -2$ のとき $y^2 = 0$ ゆえに $y = 0$

したがって $x = 1$, $y = \pm\sqrt{3}$ のとき最大値 5 ;

$x = -2$, $y = 0$ のとき最小値 -4



【27】 実数 x 、 y が $2x^2 + y^2 = 8$ を満たすとき、 $x^2 + y^2 - 6x$ の最大値と最小値、およびそのときの x 、 y の値を求めよ。

【解答】 $x = -2$, $y = 0$ のとき最大値 16 ; $x = 2$, $y = 0$ のとき最小値 -8

【解説】

$$2x^2 + y^2 = 8 \text{ から } y^2 = 8 - 2x^2 \quad \text{…… ①}$$

$$y^2 \geq 0 \text{ であるから } 8 - 2x^2 \geq 0$$

$$\text{ゆえに } (x + 2)(x - 2) \leq 0$$

$$\text{よって } -2 \leq x \leq 2 \quad \text{…… ②}$$

$z = x^2 + y^2 - 6x$ として、① を代入すると

$$\begin{aligned} z &= x^2 + (8 - 2x^2) - 6x = -x^2 - 6x + 8 \\ &= -(x + 3)^2 + 17 \end{aligned}$$

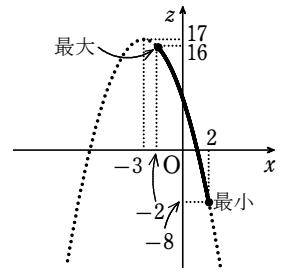
② の範囲において、 z は

$x = -2$ で最大値 16, $x = 2$ で最小値 -8 をとる。

① から、 $x = \pm 2$ のとき $y^2 = 0$ ゆえに $y = 0$

したがって $x = -2$, $y = 0$ のとき最大値 16 ;

$x = 2$, $y = 0$ のとき最小値 -8



【28】 次の 2 次関数に最大値、最小値があれば、それを求めよ。

(1) $y = x^2 - 4x - 4$

(2) $y = -x^2 + 2x - 3$

(3) $y = 3x^2 + 12x - 6$

(4) $y = 2x^2 - 4x + 5$

(5) $y = 2(x - 1)(x + 4)$

(6) $y = -\frac{1}{2}x^2 + x$

【解答】 (1) $x = 2$ で最小値 -8 , 最大値はない

(2) $x = 1$ で最大値 -2 , 最小値はない

(3) $x = -2$ で最小値 -18 , 最大値はない

(4) $x = 1$ で最小値 3, 最大値はない

(5) $x = -\frac{3}{2}$ で最小値 $-\frac{25}{2}$, 最大値はない

(6) $x = 1$ で最大値 $\frac{1}{2}$, 最小値はない

【解説】

(1) $y = x^2 - 4x - 4 = \{(x - 2)^2 - 2^2\} - 4 = (x - 2)^2 - 8$

よって、 $x = 2$ で最小値 -8 をとる。

最大値はない。

(2) $y = -x^2 + 2x - 3 = -(x^2 - 2x) - 3 = -\{(x - 1)^2 - 1^2\} - 3 = -(x - 1)^2 - 2$

よって、 $x = 1$ で最大値 -2 をとる。

最小値はない。

(3) $y = 3x^2 + 12x - 6 = 3(x^2 + 4x) - 6 = 3\{(x + 2)^2 - 2^2\} - 6 = 3(x + 2)^2 - 18$

よって、 $x = -2$ で最小値 -18 をとる。

最大値はない。

$$(4) \quad y = 2x^2 - 4x + 5 = 2(x^2 - 2x) + 5 = 2[(x-1)^2 - 1^2] + 5 = 2(x-1)^2 + 3$$

よって、 $x=1$ で最小値 3 をとる。

最大値はない。

$$(5) \quad y = 2(x-1)(x+4) = 2(x^2 + 3x - 4) = 2(x^2 + 3x) - 8 = 2\left[\left(x + \frac{3}{2}\right)^2 - \left(\frac{3}{2}\right)^2\right] - 8$$
$$= 2\left(x + \frac{3}{2}\right)^2 - \frac{25}{2}$$

よって、 $x = -\frac{3}{2}$ で最小値 $-\frac{25}{2}$ をとる。

最大値はない。

$$(6) \quad y = -\frac{1}{2}x^2 + x = -\frac{1}{2}(x^2 - 2x) = -\frac{1}{2}[(x-1)^2 - 1^2] = -\frac{1}{2}(x-1)^2 + \frac{1}{2}$$

よって、 $x=1$ で最大値 $\frac{1}{2}$ をとる。

最小値はない。

29 次の関数の最大値と最小値を求めよ。

$$(1) \quad y = -x^2 \quad (-2 \leq x \leq 3)$$

$$(2) \quad y = x^2 + 4x \quad (-1 \leq x \leq 1)$$

$$(3) \quad y = x^2 + 2x - 3 \quad (-3 \leq x \leq 1)$$

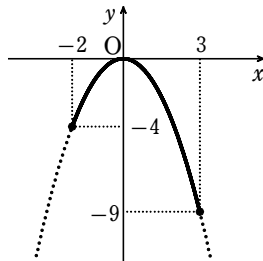
$$(4) \quad y = -\frac{1}{2}x^2 + 2x - 1 \quad (-2 \leq x \leq 5)$$

解答 (1) $x=0$ で最大値 0 , $x=3$ で最小値 -9
(2) $x=1$ で最大値 5 , $x=-1$ で最小値 -3
(3) $x=-3$, 1 で最大値 0 , $x=-1$ で最小値 -4
(4) $x=2$ で最大値 1 , $x=-2$ で最小値 -7

解説

(1) グラフは図の実線部分である。

したがって $x=0$ で最大値 0 ,
 $x=3$ で最小値 -9 をとる。

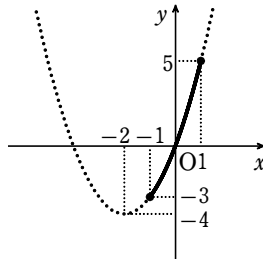


(2) 関数の式を変形すると

$$y = (x+2)^2 - 4 \quad (-1 \leq x \leq 1)$$

よって、そのグラフは図の実線部分である。

したがって $x=1$ で最大値 5 ,
 $x=-1$ で最小値 -3 をとる。

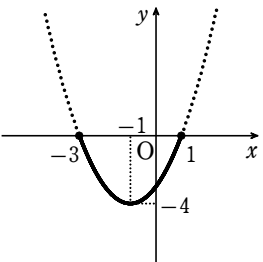


(3) 関数の式を変形すると

$$y = (x+1)^2 - 4 \quad (-3 \leq x \leq 1)$$

よって、そのグラフは図の実線部分である。

したがって $x=-3$, 1 で最大値 0 ,
 $x=-1$ で最小値 -4 をとる。

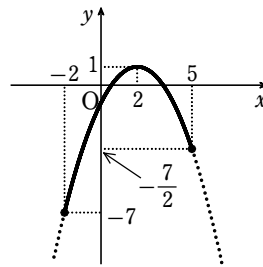


(4) 関数の式を変形すると

$$y = -\frac{1}{2}(x-2)^2 + 1 \quad (-2 \leq x \leq 5)$$

よって、そのグラフは図の実線部分である。

したがって $x=2$ で最大値 1 ,
 $x=-2$ で最小値 -7 をとる。



30 次の関数に最大値、最小値があれば、それを求めよ。

$$(1) \quad y = -2x^2 - 4x + 1 \quad (-2 \leq x < 1)$$

$$(2) \quad y = x^2 + 3x + 3 \quad (0 < x \leq 2)$$

$$(3) \quad y = 3(x+1)(x-2) \quad (0 < x \leq 3)$$

$$(4) \quad y = 2x^2 - x - 2 \quad (-1 < x < 2)$$

解答 (1) $x=-1$ で最大値 3 , 最小値はない (2) $x=2$ で最大値 13 , 最小値はない
(3) $x=3$ で最大値 12 , $x=\frac{1}{2}$ で最小値 $-\frac{27}{4}$
(4) $x=\frac{1}{4}$ で最小値 $-\frac{17}{8}$, 最大値はない

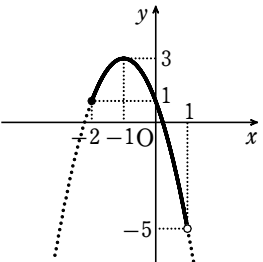
解説

(1) 関数の式を変形すると

$$y = -2(x+1)^2 + 3 \quad (-2 \leq x < 1)$$

よって、グラフは図の実線部分である。

したがって、 $x=-1$ で最大値 3 をとる。
最小値はない。

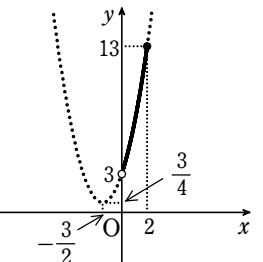


(2) 関数の式を変形すると

$$y = \left(x + \frac{3}{2}\right)^2 + \frac{3}{4} \quad (0 < x \leq 2)$$

よって、グラフは図の実線部分である。

したがって、 $x=2$ で最大値 13 をとる。
最小値はない。

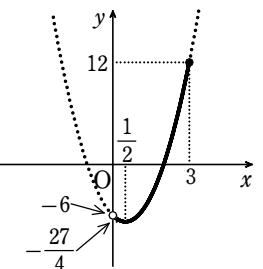


(3) 関数の式を変形すると

$$y = 3\left(x - \frac{1}{2}\right)^2 - \frac{27}{4} \quad (0 < x \leq 3)$$

よって、グラフは図の実線部分である。

したがって、 $x=3$ で最大値 12 ,
 $x=\frac{1}{2}$ で最小値 $-\frac{27}{4}$ をとる。

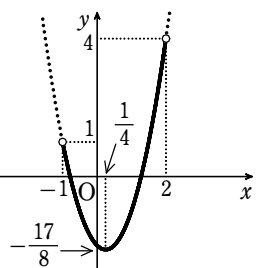


(4) 関数の式を変形すると

$$y = 2\left(x - \frac{1}{4}\right)^2 - \frac{17}{8} \quad (-1 < x < 2)$$

よって、グラフは図の実線部分である。

したがって、 $x=\frac{1}{4}$ で最小値 $-\frac{17}{8}$ をとる。
最大値はない。



31 k は定数とする。2 次関数 $y = x^2 + 2kx + k$ の最小値を m とする。

(1) m は k の関数である。 m を k の式で表せ。

(2) k の関数 m の最大値とそのときの k の値を求めよ。

解答 (1) $m = -k^2 + k$ (2) $k = \frac{1}{2}$ で最大値 $\frac{1}{4}$

解説

$$(1) \quad y = x^2 + 2kx + k = (x+k)^2 - k^2 + k$$

よって、 y は $x = -k$ で最小値 $-k^2 + k$ をとるから $m = -k^2 + k$

$$(2) \quad m = -k^2 + k = -\left(k - \frac{1}{2}\right)^2 + \frac{1}{4}$$

よって、 m は $k = \frac{1}{2}$ で最大値 $\frac{1}{4}$ をとる。

32 周囲の長さが 24 cm である長方形について、次の問いに答えよ。

(1) この長方形の面積の最大値を求めよ。また、このとき、長方形はどのような形か。

(2) この長方形の対角線を 1 辺とする正方形の面積の最小値を求めよ。

解答 (1) 36 cm^2 , 正方形 (2) 72 cm^2

解説

(1) 長方形の縦の長さを $x \text{ cm}$ とすると、横の長さは $\frac{24-2x}{2} = 12-x \text{ (cm)}$ である。

また、 $x > 0$, $12-x > 0$ であるから $0 < x < 12$

この長方形の面積を $y \text{ cm}^2$ とすると

$$y = x(12-x) = -x^2 + 12x = -(x-6)^2 + 36$$

$0 < x < 12$ から、 y は $x=6$ で最大値 36 をとる。

よって、長方形の面積の最大値は 36 cm^2 である。

このとき、縦の長さも横の長さも 6 cm になるから、長方形の形は正方形である。

(2) 長方形の対角線の長さを $z \text{ cm}$ とすると $z^2 = x^2 + (12-x)^2$

よって、正方形の面積を $S \text{ cm}^2$ とすると

$$S = z^2 = x^2 + (12-x)^2 = 2x^2 - 24x + 144 = 2(x-6)^2 + 72$$

$0 < x < 12$ から、 S は $x=6$ で最小値 72 をとる。

よって、正方形の面積の最小値は 72 cm^2

33 点 $P(x, x^2)$ は、放物線 $y = x^2$ 上の点で、2 点 $A(-1, 1)$, $B(4, 16)$ の間にある。このとき、 $\triangle APB$ の面積の最大値を求めよ。

解答 $x = \frac{3}{2}$ で最大値 $\frac{125}{8}$

解説

点 P を通り x 軸と垂直な直線と、線分 AB との交点を Q とする。直線 AB の方程式は

$$y-1 = \frac{16-1}{4-(-1)}\{x-(-1)\} \quad \text{すなわち} \quad y=3x+4$$

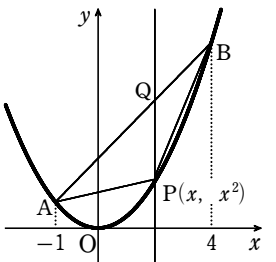
よって、点 Q の座標は $(x, 3x+4)$

ゆえに $PQ = 3x+4 - x^2$

したがって、 $\triangle APB$ の面積を S とすると

$$\begin{aligned} S &= \triangle APQ + \triangle BPQ \\ &= \frac{1}{2} \times PQ \times [\{x-(-1)\} + \{4-x\}] \\ &= \frac{1}{2} \times (3x+4-x^2) \times 5 = \frac{5}{2}(-x^2+3x+4) \\ &= -\frac{5}{2}\left(x-\frac{3}{2}\right)^2 + \frac{125}{8} \end{aligned}$$

また、定義域は $-1 < x < 4$ である。



よって、 $\triangle APB$ の面積は $x=\frac{3}{2}$ で最大値 $\frac{125}{8}$ をとる。

- [34] $\angle C=90^\circ$, $CA=9$, $AB=6\sqrt{3}$ の $\triangle ABC$ がある。点 P は頂点 C から A まで、辺 CA 上を毎秒 3 の速さで進む。点 Q は P と同時に頂点 B を出発し、頂点 C まで辺 BC 上を毎秒 $\sqrt{3}$ の速さで進む。このとき、 P 、 Q 間の距離の最小値を求めよ。

【解答】 $\frac{9}{2}$

【解説】

出発してから t 秒後の P 、 Q 間の距離を y とする。

$$BC=\sqrt{AB^2-CA^2}=\sqrt{(6\sqrt{3})^2-9^2}=\sqrt{27}=3\sqrt{3}$$

$$\text{よって } CQ=3\sqrt{3}-\sqrt{3}t$$

$$\text{また } CP=3t$$

$$\begin{aligned}\text{ゆえに } y^2 &= CP^2 + CQ^2 = (3t)^2 + (3\sqrt{3} - \sqrt{3}t)^2 \\ &= 12t^2 - 18t + 27 = 12\left(t - \frac{3}{4}\right)^2 + \frac{81}{4}\end{aligned}$$

$$\text{定義域は, } 0 \leq \sqrt{3}t \leq 3\sqrt{3}, 0 \leq 3t \leq 9 \text{ から } 0 \leq t \leq 3$$

$$\text{よって, } t = \frac{3}{4} \text{ で } y^2 \text{ は最小値 } \frac{81}{4} \text{ をとる。}$$

$$y > 0 \text{ であるから, このとき } y \text{ も最小となり, } t = \frac{3}{4} \text{ で } y \text{ は最小値 } \sqrt{\frac{81}{4}} = \frac{9}{2} \text{ をとる。}$$

$$\text{したがって, } P, Q \text{ 間の距離の最小値は } \frac{9}{2}$$

- [35] (1) $2x+y=1$ のとき、 x^2+y^2 の最小値を求めよ。
(2) $x+2y+3=0$ のとき、 xy の最大値を求めよ。

【解答】 (1) $x=\frac{2}{5}$, $y=\frac{1}{5}$ で最小値 $\frac{1}{5}$ (2) $x=-\frac{3}{2}$, $y=-\frac{3}{4}$ で最大値 $\frac{9}{8}$

【解説】

$$(1) 2x+y=1 \text{ から } y=1-2x$$

$$\text{よって } x^2+y^2=x^2+(1-2x)^2=5x^2-4x+1=5\left(x-\frac{2}{5}\right)^2+\frac{1}{5}$$

$$\text{ゆえに, } x=\frac{2}{5} \text{ で最小値 } \frac{1}{5} \text{ をとる。}$$

$$\text{このとき } y=1-2\times\frac{2}{5}=\frac{1}{5}$$

$$\text{したがって } x=\frac{2}{5}, y=\frac{1}{5} \text{ で最小値 } \frac{1}{5}$$

$$(2) x+2y+3=0 \text{ から } x=-2y-3$$

$$\text{よって } xy=(-2y-3)y=-2y^2-3y=-2\left(y+\frac{3}{4}\right)^2+\frac{9}{8}$$

$$\text{ゆえに, } y=-\frac{3}{4} \text{ で最大値 } \frac{9}{8} \text{ をとる。}$$

$$\text{このとき } x=-2\times\left(-\frac{3}{4}\right)-3=-\frac{3}{2}$$

$$\text{したがって } x=-\frac{3}{2}, y=-\frac{3}{4} \text{ で最大値 } \frac{9}{8}$$

- [36] $x \geq 0$, $y \geq 0$, $x+y=4$ のとき、 x のとりうる値の範囲を求めよ。また、 x^2+2y^2 の最大値と最小値を求めよ。

【解答】 $0 \leq x \leq 4$; $x=0$, $y=4$ で最大値 32 ; $x=\frac{8}{3}$, $y=\frac{4}{3}$ で最小値 $\frac{32}{3}$

【解説】

$$x+y=4 \text{ から } y=4-x \quad \cdots \cdots \textcircled{1}$$

$$y \geq 0 \text{ から } 4-x \geq 0 \quad \text{よって } x \leq 4$$

$$x \geq 0 \text{ と合わせて } 0 \leq x \leq 4 \quad \cdots \cdots \textcircled{2}$$

$$\begin{aligned}\text{また } x^2+2y^2 &= x^2+2(4-x)^2=3x^2-16x+32 \\ &= 3\left(x-\frac{8}{3}\right)^2+\frac{32}{3}\end{aligned}$$

$$\text{よって, } \textcircled{2} \text{ の範囲の } x \text{ について } x^2+2y^2 \text{ は}$$

$$x=0 \text{ で最大値 } 32, x=\frac{8}{3} \text{ で最小値 } \frac{32}{3}$$

をとる。

$$\text{ここで, } \textcircled{1} \text{ から } x=0 \text{ のとき } y=4, x=\frac{8}{3} \text{ のとき } y=\frac{4}{3}$$

以上から、 x^2+2y^2 は

$$x=0, y=4 \text{ で最大値 } 32; x=\frac{8}{3}, y=\frac{4}{3} \text{ で最小値 } \frac{32}{3}$$

をとる。

- [37] 次の関数に最大値、最小値があれば、それを求めよ。

$$(1) y=-2x^4+4x^2+3$$

$$(2) y=(x^2-2x)^2+4(x^2-2x)-1$$

【解答】 (1) $x=\pm 1$ で最大値 5 , 最小値はない (2) $x=1$ で最小値 -4 , 最大値はない

【解説】

$$(1) x^2=t \text{ とおくと } t \geq 0$$

$$\begin{aligned}\text{また } y &= -2x^4+4x^2+3 = -2t^2+4t+3 \\ &= -2(t-1)^2+5\end{aligned}$$

このグラフは、図の実線部分のようになる。

よって、 y は $t=1$ で最大値 5 をとる。

最小値はない。

$$t=1 \text{ のとき } x^2=1$$

$$\text{よって } x=\pm 1$$

したがって、 y は $x=\pm 1$ で最大値 5 をとる。

最小値はない。

$$(2) x^2-2x=t \text{ とおくと } t=x^2-2x=(x-1)^2-1$$

$$\text{よって } t \geq -1$$

$$\begin{aligned}\text{また } y &= (x^2-2x)^2+4(x^2-2x)-1 = t^2+4t-1 \\ &= (t+2)^2-5\end{aligned}$$

このグラフは、図の実線部分のようになる。

よって、 y は $t=-1$ で最小値 -4 をとる。

最大値はない。

$$t=-1 \text{ のとき } x^2-2x=-1$$

$$\text{よって } (x-1)^2=0 \quad \text{ゆえに } x=1$$

したがって、 y は $x=1$ で最小値 -4 をとる。

最大値はない。

- [38] $x^2+y^2=1$ のとき、 x^2-y^2+2x の最大値と最小値を求めよ。

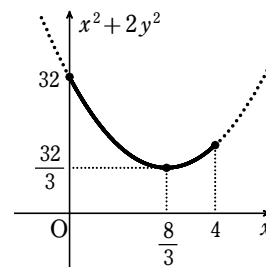
【解答】 $x=1$, $y=0$ で最大値 3 ; $x=-\frac{1}{2}$, $y=\pm\frac{\sqrt{3}}{2}$ で最小値 $-\frac{3}{2}$

【解説】

$$x^2+y^2=1 \text{ から } y^2=1-x^2$$

$$y^2 \geq 0 \text{ であるから } 1-x^2 \geq 0 \quad \text{よって } -1 \leq x \leq 1$$

$$\text{このとき } x^2-y^2+2x=x^2-(1-x^2)+2x=2x^2+2x-1=2\left(x+\frac{1}{2}\right)^2-\frac{3}{2}$$



よって、 x^2-y^2+2x は、 $x=1$ で最大値 3 , $x=-\frac{1}{2}$ で最小値 $-\frac{3}{2}$ をとる。

また、 $y^2=1-x^2$ であるから

$$x=1 \text{ のとき } y=0, x=-\frac{1}{2} \text{ のとき } y=\pm\frac{\sqrt{3}}{2}$$

したがって $x=1$, $y=0$ で最大値 3

$$x=-\frac{1}{2}, y=\pm\frac{\sqrt{3}}{2} \text{ で最小値 } -\frac{3}{2}$$

- [39] x の 2 次関数 $y=2x^2+4mx+3m$ がある。

(1) この 2 次関数の最小値 l を、 m の式で表せ。

(2) m の値を変化させて、(1)における最小値 l が最も大きくなるときの m の値と、そのときの l の値を求めよ。

【解答】 (1) $l=-2m^2+3m$ (2) $m=\frac{3}{4}$ で最大値 $\frac{9}{8}$

【解説】

$$(1) y=2(x+m)^2-2m^2+3m$$

よって、 y は $x=-m$ で最小値 $-2m^2+3m$ をとる。

$$\text{したがって } l=-2m^2+3m$$

$$(2) l=-2\left(m-\frac{3}{4}\right)^2+\frac{9}{8}$$

$$\text{よって, } l \text{ は } m=\frac{3}{4} \text{ で最大値 } \frac{9}{8} \text{ をとる。}$$

- [40] x の 2 次関数 $y=2x^2-4kx+4k+3$ の最小値を $M(k)$ とする。[各 10 点]

(1) $M(k)$ を求めよ。

(2) $M(k)$ の最大値を求めよ。

【解答】 (1) $y=2x^2-4kx+4k+3=2(x^2-2kx+k^2)-2k^2+4k+3$
 $=2(x-k)^2-2k^2+4k+3$
したがって $M(k)=-2k^2+4k+3$
(2) $M(k)=-2k^2+4k+3=-2(k^2-2k+1)+2+3=-2(k-1)^2+5$
よって、 $M(k)$ は $k=1$ で最大値 5 をとる。

【解説】

$$(1) y=2x^2-4kx+4k+3=2(x^2-2kx+k^2)-2k^2+4k+3$$

$$=2(x-k)^2-2k^2+4k+3$$

$$\text{したがって } M(k)=-2k^2+4k+3$$

$$(2) M(k)=-2k^2+4k+3=-2(k^2-2k+1)+2+3=-2(k-1)^2+5$$

よって、 $M(k)$ は $k=1$ で最大値 5 をとる。

